



— 主題 —

- 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」 廣瀬一雄
 EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 濱 浩一
 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よして、みんな笑顔」 大野智恵
 西日本区理事 「未来への挑戦」
 「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！」 新山兼司
 アジア会長 「100年を超えて変革しよう」
 スローガン「健康第一」 大野 勉
 国際会長 「世界とともにワイズメン」
 スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」 Kim Sang-Chae

2022年
1月

885号
(75期7号)



1月 西日本区強調活動

EF EFの意味を学び、国際奉仕団体の一員であることを自覚しよう。
 何か感謝、記念を与えられた時に献金しよう。

深谷聡 国際・交流事業主任（名古屋）

西宮ワイズメンズクラブ 2022年1月第一例会

日時：1月14日(金) 開会 18:30~20:00
 場所：西宮 YMCA 3階会議室
 ZOOMによるハイブリッド形式
 ドライバー：重村仁メン、阪根新メン
 1 開会挨拶・開会点鐘 廣瀬一雄会長
 2 ワイズソング 一同
 3 開会祈祷 小野勅紘メン
 4 ゲストスピーチ「棒を振り続けて17年」
 宝塚市民クリスマス合唱団指揮者
 宝塚クラブ 若林成幸メン
 5 お誕生日のお祝い 廣瀬一雄会長
 6 ワイズニュース 廣瀬一雄会長
 7 YMCA ニュース 藤田担当主事
 8 閉会挨拶・閉会点鐘 廣瀬一雄会長
 ※食事はありません

HAPPY BIRTHDAY JANUARY

1日 濱崎メン、廣瀬メン 2日 石井メン
 10日 濱美智子メネット 20日 山口政紀メン
 28日 重村眞由美メネット

今月の聖句

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つはい
 つまでも残る。その中で最も大いなるものは、
 愛である」

コリントの信徒への第一の手紙 13章13節
 小野勅紘メン選

12月出席状況 (在籍会員数 22名)

第一例会 (18金)	第二例会 (24金)
メン 18名	メン 13名
メネット 6名	メネット 0名
ゲスト 25名	合計 13名
MU 1名	
合計 19名	出席率 86.4%

ファンド

	12月	累計
ニコニコファンド	¥3,000	¥16,000
BF@300	¥0	¥12,000
震災支援@200	¥0	¥8,000

主役員

【会長】 廣瀬一雄 【直前会長】 万本 敬一 【副会長(次)】 濱浩一 【副会長】 石井 恭子
 【書記】 小野 勅紘, 山口 吉郎 【会計】 重村 仁, 濱崎 進一 【監事】 阪根 新, 山口 政紀
 【EMC主査】 濱浩一 【LD委員】 馬場 貴英 【組織検討安全対策委員】 山口 吉郎 【担当主事】 藤田 良祐

会長メッセージ

会長 廣瀬一雄



12月18日(土) 14時~15時40分宝塚市民クリスマスが宝塚市の清荒神にあるベガホールで宝塚クラブの主催で開催されました。

同じ日の夕刻からわがクラブのクリスマス例会があり、残念ながらフィナーレまでの着席はかないませんでした。1部のラストは“フラを踊ろう”。関西学院大学の神戸三田キャンパスのフラグループ“マハロ”のきよしこの夜を見納めに。

以前この市民クリスマスに参加のとき、最前列の座席に座っていましたら、司会の石田由美子ワイズから“かぶりつき席に”とひやかされたことがありました。今年はワイズ指定席、が決められていました。

京都トップスの新山理事、岡山の竹内メネット事業主任、神戸学園都市の田辺会長が既に着席されていました。去年はベガホールでの開催にかえてのネット配信をされ、会場は“はんしん自立の家”がメインだったと記憶しています。

1月例会では表紙の例会次第にもありますように今回の第17回・One Christmas で構成/指揮をしておられる若林成幸メンをゲストスピーカーとしてお迎えしました。六甲部のYサ主査をされていることもあり、Yサ・CSの面からのお話もいただけそうです。



西宮ワイズメンズクラブ クリスマス祝会

～驚きの展開に酔いしれて～

六甲部部長 大野智恵 (神戸ポートクラブ)



六甲部 EMC 主査としてお力添えいただきます濱ワイズがドライバーを務められることもあってお礼の意味も込めて参加させていただきました。イタリアンレストランを借り切って、たくさんのゲストをお迎えしてのクリスマス祝会は、コロナ禍が少し落ち着き交流できる悦びに満ちていました。素敵なクリスマスメッセージ、美味しいお食事、そして心踊るジャズライブが予定されたとおり進められてさあ閉会、というタイミングでメインのお料理となりました。第2部の始まりです。

歓談の中でお店のスタッフのピアノ演奏、ソリストの迫力ある歌声、飛び入りのピアニストによるショパンの英雄ポロネーズと続き、会場は更に盛り上がりました。予想もしない展開に驚きながらも、時間を忘れて楽しみ、思い出に残るクリスマス祝会となりました。

今回参加されたたくさんのゲストが、ワイズの交流の楽しさに触れられ西宮クラブの輪の中に入っていかれるという展開を期待しています。それは想定外ではなく、地道な EMC 活動の成果といえます。1月22日、六甲部新年懇親会の前に濱主査が EMC シンポジウムを開催されますが、そのような取り組みも共有されることになると思います。

明るい希望の光を感じさせていただいたクリスマス祝会、ありがとうございました。



二宮尊徳の故郷を訪ねて

浅野純一

私は2016年から日本史通史のレポート作成に取り組んでいます。昨秋は特別に感染症の歴史について例会で話す機会をいただきました。レポート作成については先史時代から始まって6年近くになり、いま黒船来航の時代にやっと到達しました。終わるにはあと6年ぐらひは必要かもしれません。果たして元気でいられるのか。少々焦りを感じています。

昨年9月に江戸後期の文化を書くことになり、二宮尊徳(1787~1856)について調べようと思い、小田原市を訪れました。私は報徳学園高校の出身で、報徳の教育理念は二宮尊徳の報徳思想が柱であり、そのようなことで尊徳を調べようと思ったからです。尊徳、通称金次郎は全国の多くの小学校の校庭に薪を背負って本を読む少年時代の像があり、広く知られた存在です。最近「歩きスマホ」が問題となっていますが、それに関連して金次郎像のことが話題となっています。

金次郎は天明7(1787)年、相模国足柄上(かみ)郡栢(か)山(やま)村(神奈川県小田原市栢山)の中堅百姓の長男として生まれました。生まれたときは天明大飢饉(1782~1788)が頂点に達したときです。北関東では人口が100年前に比較して約30%も減少し、農村は荒廃していました。金次郎の生家は続く災害で家運が傾き、16才の時、父母を相次いで失い、その後、伯父に引き取られました。金次郎は独力で一家再建を目指し24才にして成し遂げます。それをみた小田原藩家老服部家から家政改革を依頼され辣腕を奮います。やがて、その手腕を見込まれ小田原藩の役人に登用されました。そして、文政6(1823)年から14年間、小田原藩主大久保家の分家の知行所、下野国(栃木県)桜町領の復興事業に従事して成果を収めます。その過程で農民にやる気を起こさせる具体的方策としての「報徳仕法」が体系化されます。天保の大凶作・飢饉(1833~1839)を機に領主や農民、商人たちから仕法の依頼が相次ぎ、北関東を中心に荒廃農村の復興事業に生涯を捧げました。まさに金次郎(以下、尊徳)は農村復興請負人でした。

尊徳及びその弟子がは約600を数え子である相馬(福出身の富

90)は「報徳」のためにしました。それ「報徳仕法」とは、「天・

復興に携わった村ます。尊徳の弟子(福島県)中村藩士田高慶(こうけい)(1814~尊徳死後、「報徳仕法」を広め『報徳記』を著わによると、尊徳の根幹を成す「報徳」地・人の徳」に報人間の勤労と万物を育む天地の徳が合致することによって、はじめて人間は生存できるのであるから、その徳に感謝して報いる気持ちをもって生きなければならないとします。その生き方の根本は「至(し)誠(せい)」(まっすぐで思いやりの心)にあり、その上で「勤労」(一生懸命に働くこと)、「分(ぶん)度(ど)」(自分にふさわしい生活)、「推(すい)譲(じょう)」(得た余分は自分の将来或いは子孫のために貯える。しかしそれだけではなく社会のために使うこと)です。金次郎は戦前の道徳教育において、勤勉力行(りっこう)の代名詞として扱われました。富田の著わした『報徳記』を明治天皇が読まれ、天皇は宮内省に命じて印刷して全県知事に配布しました。また、キリスト教伝道者の内村鑑三も、外国人に向けて英文で著わした『代表的日本人』で、5人を挙げましたが、その1人として「農民聖者」として二宮尊徳をあげています。幸田露伴(1867~1947)は少年少女に向けて、明治24(1891)年『二宮尊徳翁』を著しました。この本に薪を背負って読書する金次郎少年が描かれ、それが金次郎像に定着したと考えられています。なお、明治37(1904)年以降、国定修身教科書に模範的人物として少年時代の金次郎が取り上げられ、昭和の初め頃から金次郎像が全国に普及しました。

ところで、報徳学園在学中は金次郎のことについての多くの教えを受けたと思うのですが、まったく覚えていません。私は公立高校の教員でしたが、公立では特定の宗教や人物を教育方針にはできず、確固たる教育理念はあるといえませんが、



立学校の良さは教育理念があります。今にして思えば、尊徳の教えを真摯に学んでいれば、もう少しはましな人生を送っていたのではと残念に思っています。



金次郎は父母の生前から厳しい労働の傍ら、夜の暇を見つけては『論語』や『大学』などを読みふけたのですが、伯父からは「百姓には学問はいらない。明かりに使う灯油がもったいない」といわれました。すると、発奮して菜種を植えて収穫をあげました。金次郎は収穫した菜種を油屋に持ち込み、代わりに灯油を分けてもらいました。その菜種が栽培された地であるとの碑が建てられています。

上の写真の場所からの現在の栢山の田園風景を見ました。小田急線が村の真ん中を走っています。(小田急小田原線 栢山(かやま)・富水(とみず)間)



YMCA ニュース

担当主事：藤田良祐

冬休み期間中は12月29日～1月3日までの6日間と日曜日を除き、育成センターでは1日保

育を行っています。夏休みと比較すると短い期間ですが、子どもたちは朝から夕方まで育成センターで仲間や支援員と一緒に過ごしています。小学校が授業を行っている期間は子どもたちが育成センターを利用するのは放課後の時間みですが、小学校の長期休業中に1日保育を行うことを加味すると、子どもたちが育成センターで過ごす時間は小学校で過ごす時間よりも長くなります。学校、家庭に加えて子どもたちの第三の居場所として、育成センターの果たすべき役割は大きいと言えます。今年の4月からYMCAが香櫨園育成センターの指定管理者として運営を行うことが市議会で決議され、YMCAから提案した事業内容は選定委員会でも高い評価をいただきました。私たちが提案したことを確実に実行し、子どもたちの最善の利益が守られる居場所を保護者や地域の方々と協力して創りあげていくことができるよう努めていきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1. Amazon みんなでサンタクロースプログラム

Amazonによる社会貢献活動の一つである「みんなでサンタクロース」プログラムに全国23のYMCAが参画しました。これはAmazonの「ほしいものリスト」を活用したキャンペーンで、趣旨にご賛同いただいた方々にYMCAが公開した「ほしいものリスト」にある商品を購入していただくと、その商品が応援物資としてYMCAに届くというものです。西宮YMCAにも育成センターの子どもたちが使う玩具や絵本を中心に、多くの応援物資がクリスマスプレゼントとして届きました。

育成センターの子どもたちも大喜びで、趣旨にご賛同いただきご支援くだ



みんなでサンタクロース
応援サンタ # おうえんサンタ

さった多くの皆様に心から感謝しています。

2. 西宮 YMCA 会館外壁工事



西宮 YMCA 会館の外壁工事が無事に終了しました。古くなり落下する危険がある煉瓦タイルはないか調査を行った上で、タイルの張り替え、屋根の塗装、防水工事を合わせて行いました。子どもたちや保護者、ワイズメンの皆様など多くの方々が来館する施設ですので、安全性を担保するためにも必要な工事でした。外観はほとんど変わっていませんが、屋根の色が少し変わりました。(内装は全く変わっていません。) 1月例会は少しだけ新しくなった西宮 YMCA 会館でお待ちしています。

3. 西宮 YMCA ファミリーイベント

1月30日(日) 10:00~11:00 に香櫨園浜でファミリーイベントを実施する計画をしています。今もまだ残るコロナの影響により、大規模なファミリープログラムを実施することは出来ませんが、地域の子もたちや保護者が気軽に集うことができる時間・空間を提供したいと若手職員が中心となって企画しました。固定したプログラムを提供するのではなく、集まった方々と一緒に考え、自由に身体を動かし、語り合い、心身ともにリフレッシュすることができる「場」を提供することを目指します。

1 2月第一例会報告

ドライバー 清水規裕、濱浩一

12月第一例会は12月18日(土)に恒例のクリスマス・ジャズライブ祝会として「カクチーナケインカント」にて多くのビジターとゲストをお招きして開催。開会点鐘、ワイズソング斉唱、廣瀬会長のユニークなゲストとビジター紹介、藤田担当主事の聖書朗読のあと、クリスマスメッセージは橋本かおり牧師(日本キリスト教団夙川東

教会)にお話しいただき讃美歌、お祈りで心静かに礼拝を厳かに終え、楽しいクリスマス祝会を迎える準備ができ、大野智恵六甲部部長の乾杯、小野メンの食前感謝で祝会開始。

美味しい食事と久しぶりの歓談とジャズライブの楽しい祝会もお開きにしようと思いましたが、メインディッシュがこれからで延長、その後はお店のマスターの歌や飛び入り歌手のカンツォーネとピアノ演奏など楽しい時間が延々と続きました。

大幅な時間オーバーをお許し頂ければ、コロナ禍でリアルに人に会う楽しさを再確認でき、喜びにあふれたクリスマス祝会になったのではないかと考えています。

ワイズニュース

【今後の予定】

- 1月10日(月) デジタル小委員会 石井メン
- 1月14日(金) 第一例会 18:30~20:00
ドライバー: 阪根メン、重村メン
- 1月22日(土)
14:00~15:30
六甲部 EMC シンポジウム
16:00~18:30
六甲部新年懇親会
場所: 須磨温泉臨水亭(神戸市須磨区)
- 1月28日(金) 第二例会 15:00~
- 2月5日(土) 奈良クラブ70+1周年記念例会
- 2月18日(金) 第一例会
- 2月25日(金) 第二例会

<編集後記> ブリテン委員長 山口吉郎
新年明けましておめでとうございます。

ブリテンを担当して半年、皆さまのご協力のおか



げで順調に発行出来ています。ありがとうございます。これからもクラブの機関紙・掲示板として情報交換の場となることを願っていますので、投稿・寄稿・データ提供をよろしくお願いいたします。